

泌尿器科レジデントマニュアル 第2版

郡 健二郎 監修

安井 孝周, 林 祐太郎, 戸澤 啓一, 窪田 泰江 編

＜書評者＞ 松原 昭郎 (広島大大学院教授・腎泌尿器科学)

「泌尿器科診療ですぐに役立つポケットサイズの専門書がほしい」。これは泌尿器科医として初めの一步を踏み出す全てのレジデントに共通する願いであろう。本書は、名門・名古屋市大泌尿器科とその関連施設に勤務する百戦錬磨のベテラン医師達が、この要望に応えるべく丹精込めて手解きした泌尿器科診療の奥義書である。発売当初から信頼のツールとして好評を博してきた本書が8年振りにリニューアル、磨きをかけてパワーアップし、わずか11mmという驚きの薄さに生まれ変わった。

◆レジデント目線の必要な情報が全てこの一冊に

ページをめくってまず気付くのは、きめ細やかで豊富な情報量である。症候と鑑別診断、検査法、処置、代表的疾患はもちろん、処方例、周術期管理、患者説明、トラブル対処法、緩和医療、各種スコア・質問票、さらには保険点数までカバーされている。また、各項目別に目を向ければ、例えば検査では必要物品や器具の使い方、手順まで一挙手一投足に丁寧に解説してある。ここまで至れり尽くせりの全てそろった書籍は他に類

を見ない。しかも、改訂版では項目ごとに新たなページで始まるよう編集され、知りたい場所に素早くアクセスできるよう工夫されている。

◆豊富な図解とフローチャートで直感的かつ確実な理解

ビジュアルな点も、駆け出しの医師にとってはありがたい。初版でも日常診療に欠かせない知識は項目ごとに整理整頓され、シンプルなレイアウトで端的にまとめられていたが、改訂版ではこれに図解やフローチャートが随所に盛り込まれ、よりわかりやすくなった。持続勃起症の治療を例に挙げれば、「シャント造設術を行う」という記述にとどまっていた初版から、改訂版ではイラストを交えた作成方法が丁寧に解説されている。また、チェーン尿道膀胱造影のような上級医からの口伝だけでは曖昧になりがちな画像の見方などは、図解によって確実に理解できるよう改良されている。

◆他の書籍にはない経験に裏打ちされた勘所や注意点が満載

本書の出色は枚挙にいとまがないが、特に際立っているのは全て

の情報が生きていることであろう。泌尿器科診療の最前線で活躍する63名もの経験豊富なドクターが自らの経験に基づいた診療の極意をポイントとしてくまなく伝授するとともに、苦い思いをすることはじめて得られる要注意事項を惜しみなくちりばめている。これによって何が重要なのか、落とし穴はどこにあるのかが手に取るようにわかるのである。これはもう単なるマニュアルではない。あらゆる場面で力をくれるバイブルといえるだろう。

本書は単に読むだけでも味わい深い。項目ごとにエッセンスが凝縮された固形スूपのようだ。読者の皆さんには常になぜそうなるのだろうかという視点で本書を味わってほしい。そうすれば本書の最大の目的である思考力、観察力、洞察力が養われ、本書が手垢にまみれる頃には泌尿器科の星になっているに違いない。

●B6変型 頁320 2019年4月
定価：本体4,500円＋税
[ISBN978-4-260-03838-6]
医学書院